

## 第4章 経営の基本方針

## 第4章 経営の基本方針

### 1. 基本方針

水道は、市民の生活と経済活動に欠かすことのできない重要なライフラインで、多くの市民に安心して水道を使用していただけるよう水道の普及に努め、令和3年度末における水道普及率（給水人口／行政区域内人口の割合）は93.2%となっています。一方、人口の減少による水需要の減少により、今後の水道事業は拡張整備の時代から維持管理の時代に移行し、将来にわたり安全かつ持続的に水道水を供給することが求められています。

このような社会情勢や水道事業を取り巻く環境の変化や課題へ対応するため、国では持続可能な水道を将来にわたり維持するために「新水道ビジョン」を策定しました。この水道ビジョンでは、関係者が「地域とともに信頼を未来につなぐ日本の水道」という基本理念を共有し、挑戦や連携をしながら、一丸となって水道事業を次世代へ継承することが必要であるとし、各事業体に取り組みを求めています。

このことから、本市の水道事業では、令和4年3月に策定した「基本計画」で掲げた3つの目標「基幹施設の強靱化」「安定給水の確保」「施設の経年化・老朽化対策」に基づき、水道事業の経営戦略を明確にし、安定的な経営を図る取り組みを推進する方針としました。

これを踏まえ、水道事業の今後10年間に取り組むべき具体的な施策を示した「北秋田市水道ビジョン2022～2031」を令和4年4月に策定しました。

北秋田市水道ビジョンでは、「地域をうるおし、信頼を未来へ」を基本理念に掲げ、「強靱」「安全」「危機管理」「経営」の観点で取り組みを推進することとしています。

このため、経営戦略においても上記の観点から、安全で安心な水道水の安定供給に努め、将来を見据えた施設の統廃合や更新、料金収入の確保に取り組み、経営基盤の強化と効率化を図ることとします。

新水道ビジョンの基本理念、基本計画の目標、北秋田市水道ビジョンの基本理念と取り組みを踏まえた経営戦略の基本方針を図1に示します。

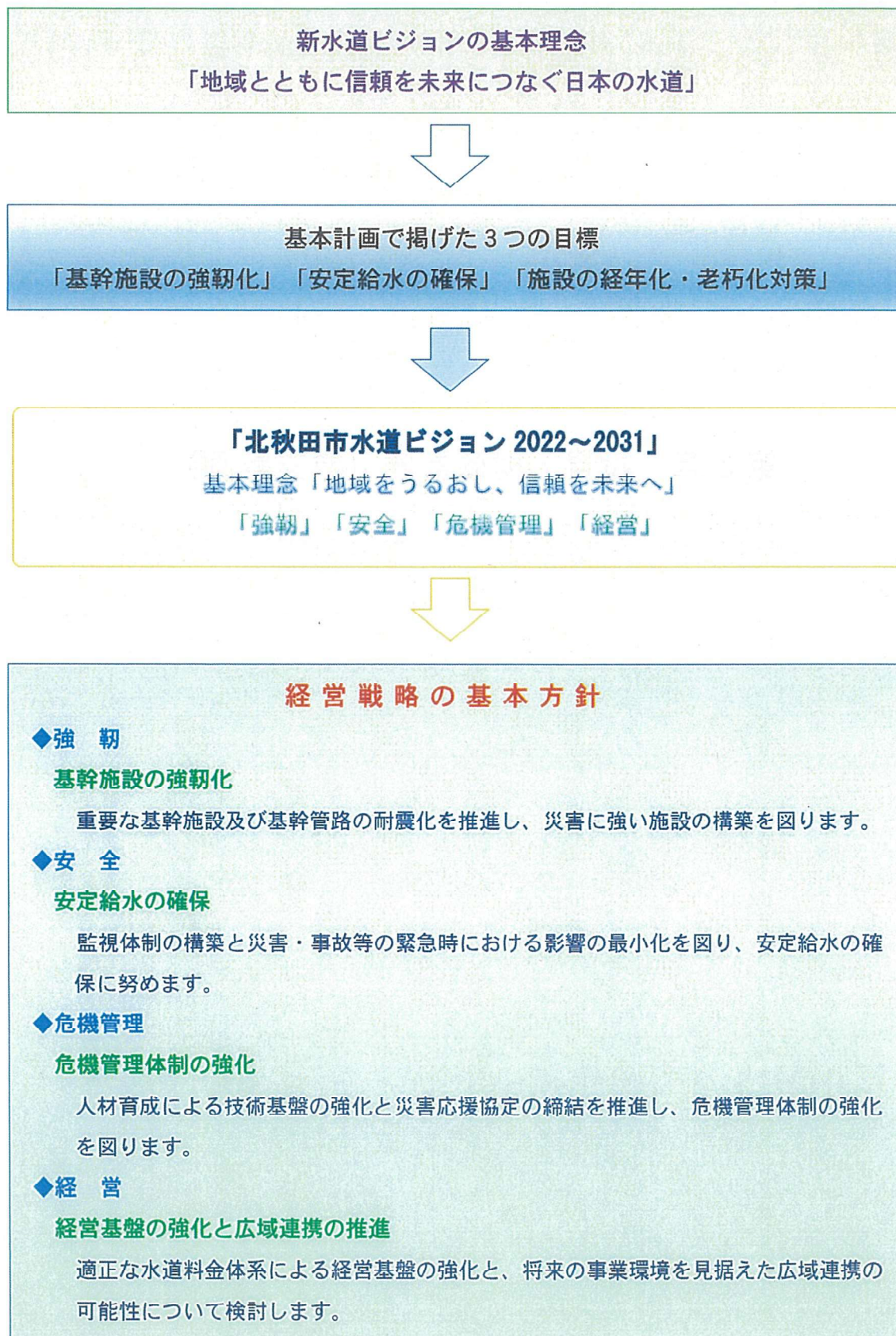


図1 経営戦略の基本方針